

# 28年度 決算のあらまし

28年度の各会計決算がまとまり、9月の市議会定例会に提案しました。

## 一般会計

市の財政の柱となる一般会計の28年度決算額は、最終予算額1434億3544万円に対し、歳入が1395億2633万円（執行率97・3%）、歳出が1380億1635万円（執行率96・2%）で、歳入歳出差引額は15億998万円となりました。

これから29年度へ繰り越す1739万円を差し引いた実質収支額は、14億9259万円の黒字となりました。

## 28年度決算の主な事業

巴中学校の新築工事を行ったほか、福祉コミュニティエリアの整備や旭岡団地の外壁等改修工事、市民会館の耐震等改修実施設計など、地域の振興・発展に配慮しつつ、都市基盤や生活環境の整備等に努めました。

このほか、北海道新幹線開業記念イベントやフルマラソン・ハーフマラソンの同時開催、首都圏・東北地区等での観光プロモーション実施に加

表1 平成28年度 一般・特別会計決算

(単位：万円)

会計別	収入済額(A)	支出済額(B)	差引額(A)-(B)=(C)	へす源 年度繰越 繰り越 き 額 (D)	実質 収支額 (C)-(D)	
一般会計	1,395億2,633	1,380億1,635	15億 998	1,739	14億9,259	
特別会計	港湾事業	35億1,978	34億8,871	3,107	3	3,104
	国民健康保険事業	370億3,628	374億8,888	△4億5,260		△4億5,260
	自転車競走事業	155億3,188	155億5,548	△2,360		△2,360
	奨学資金	3,919	3,629	290		290
	地方卸売市場事業	4億2,782	4億1,810	972		972
	介護保険事業	271億8,821	267億5,953	4億2,868		4億2,868
	発電事業	527	293	234		234
	母子父子寡婦福祉 資金貸付事業	1億6,990	7,957	9,033		9,033
	後期高齢者医療事業	38億9,072	38億2,275	6,797		6,797
	小計	878億 905	876億5,224	1億5,681	3	1億5,678
合計	2,273億3,538	2,256億6,859	16億6,679	1,742	16億4,937	

え、外国人観光客誘致のため、東アジア、東南アジア地域において観光プロモーションを実施したほか、「はこだてグルメサーカス」や「はこだて美食フェスタ」の開催、函館駅前広場でのイルミネーションの実施など、観光イベントの充実や冬季観光客誘致の促進に努めました。

また、中心市街地や地域経済の活性化のため、「中心市街地活性化基本計画」に基づき、「はこだてみらい館」および「はこだてキッズプラザ」の開設、函館コミュニティ

ラザや中央病院前電停の整備を行ったほか、「函館駅前若松地区市街地再開発事業費補助金」や「函館本町地区優良建築物等整備事業費補助金」などを交付しました。

## 今後の行財政運営

少子高齢化や人口減少などにより、今後においても厳しい財政運営を強いられることが予測されます。このため現在、新たな行財政改革プランの策定に取り組んでおり、これまで以上に効率的な行財政運営に努め、健全で安定的な財政運営の確立を目指します。

## 特別会計

特別会計は、特定の収入を財源として事業を行うもので、一般会計から分離して収支経理を行っています。

28年度特別会計決算は、表1のとおりですが、国民健康保険事業特別会計および自転車競走事業特別会計では、赤字となっています。この不足分は、29年度の収入から繰り上げて充用し、補てんしています。

なお、港湾事業特別会計では、豊川地区などで岸壁の改修工事を行いました。

## 企業会計

企業会計は、独立採算制をとっており、経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう努めています。

28年度企業会計決算は、表2のとおりです。

なお、企業会計には、一般会計からの繰入金62億8813万円を支出しています。

## 都市基盤の整備

市では厳しい財政状況の中でも、都市基盤の整備に力を注いでいます。

28年度末では下水道普及率90・3%（前年比0・1%増）、道路舗装率76・3%（前年比0・4%増）となっています。

◎ 詳しい内容は市のHPに掲載しています。

お問合せ 財政課

☎ 21・3561

※ 水道・公共下水道・交通事業は企業局管理部経理課（☎ 27・8721）、病院事業は病院局管理部経理課（☎ 43・2000）へ。

1年間に市民1人当たりが負担する  
市税の金額


**121,126円**

市民1人当たりの決算額


民生費

福祉の充実などに  
  
**207,510円**

土木費

道路や公園の整備などに  
  
**39,704円**

商工費

経済・観光振興などに  
  
**39,442円**

教育費

学校施設の整備などに  
  
**23,558円**

衛生費

清掃事業や保健対策などに  
  
**33,309円**

総務費

企画調整や税務、地域活動、防災活動、大学の運営などに  
  
**19,804円**

消防費

消防施設の整備などに  
  
**3,204円**

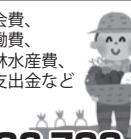
公債費

借入金の返済などに  
  
**54,502円**

職員費

職員の給与などに  
  
**65,629円**

その他

議会費、労働費、農林水産費、諸支出金など  
  
**36,709円**

※金額は、一般会計の決算額を平成29年3月31日現在の人口26万3,706人で割ったものです。

平成28年度 一般会計決算内訳

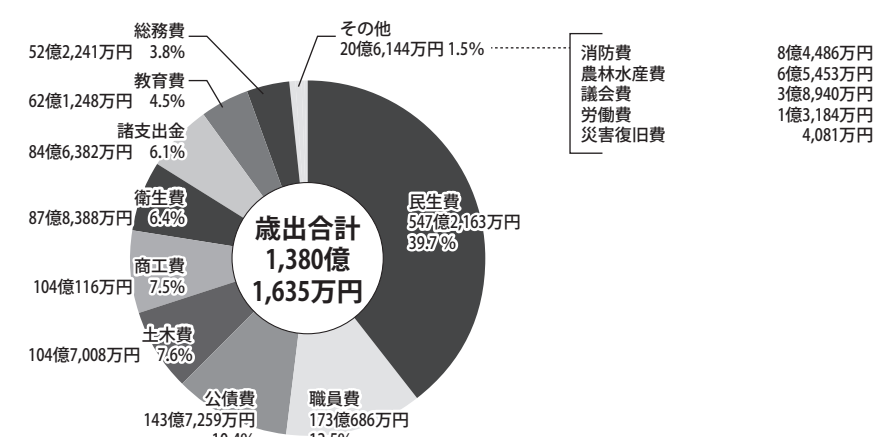
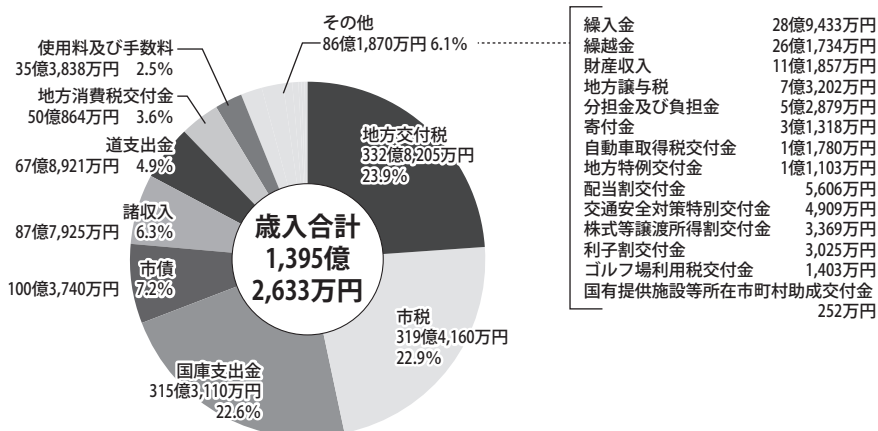


表2 平成28年度 企業会計決算

(単位：万円)

会計区分	収益的収支	資本的収支	純利益	累積財源 過不足額(注)	一般会計からの繰入金
水道事業	収入 51億 640 支出 45億 378	14億 1,160 30億 1,109	4億 8,570	25億 4,422	1億 2,849
公共下水道事業	収入 79億 3,238 支出 68億 4,456	30億 6,079 55億 8,445	10億 2,430	20億 5,307	16億 6,766
交通事業	収入 14億 3,507 支出 14億 1,473	5億 3,934 6億 7,544	△350	3億 2,237	3億 1,835
病院事業	収入 214億 793 支出 281億 9,615	10億 5,714 19億 1,906	△68億 2,304	△14億 6,474	41億 7,363
合計	収入 358億 8,178 支出 409億 5,922	60億 6,887 111億 9,004	△53億 1,654	34億 5,492	62億 8,813

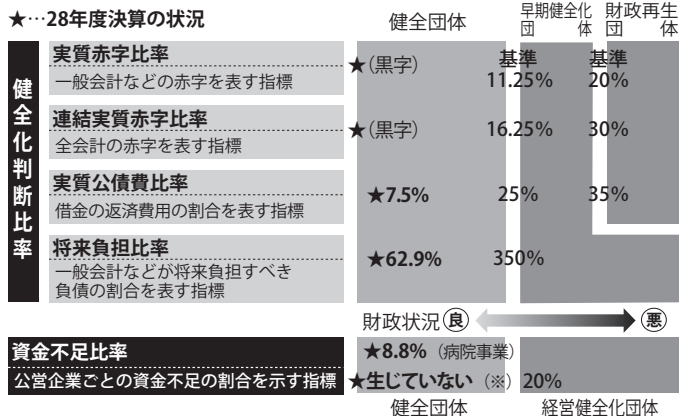
(注) 病院事業の累積財源過不足額は、財政健全化法の資金過不足額を用いて算出しています。

健全化判断比率および資金不足比率の公表

お問合せ 財政課 ☎21-3528

財政健全化法により、各指標が基準を超えた場合、議会の議決を経て財政健全化計画を策定し、改善に取り組むこととなっています。28年度決算での指標の状況は、右図のとおりです。詳細は市のHPに掲載しています。  
健全化判断比率 全ての指標で基準を下回っています。  
資金不足比率 病院事業で資金不足が生じていますが、全ての会計で基準を下回っています。

いずれの指標も基準以内となっていますが、これらはひとつの目安に過ぎないことから、今後も厳しい状況の中、さらなる財政の健全化を図っていきます。



※ 水道、公共下水道、交通、地方卸売市場、発電の各事業